

「聴いて・考えて・つなげる」通信



事前研修の内容で公開授業に向けて自分の授業で活かそうな事について

見通しを黒板に書き、今どこに取り組んでいるのか生徒も現状を把握できる状態をつくることを取り入れたいです。

クラスでの年後初めの授業をペアワークやグループワーク活動を通して暖かな雰囲気づくりを考えるきっかけとなりました。音楽にちなんでクラシックイントロクイズ(J-POPでも)やってみると良いと感じています。授業内でも「静かに聴く状況」だけではなく「わからない人も教え合える授業づくり」を心がけていきたいと思いました。

ペアワークの際にアイコンタクトシートやジェスチャーの大切さを伝えてから活動に移してみようかと思いました。

お手本を生徒にやらすこと。先生役を任せることで生徒同士がつながっていくなと感じました。現在、保健の授業で自分がしゃべりすぎて困っています。生徒の会話が増えるように努力します。(生徒の言葉や発信を拾いすぎて、、、)

常の時間、ルーティン化することで慣れにより活動がスムーズにできそう。

教科の特性等がありますが生徒同士の話し合い化がきちんとしたワークになってそこから「わかった」につながればと思います。

見える化することが大事だなと分かっていたのですが、ついつい日ごろの多忙さを理由に怠っていました。口頭での確認で終わることがあったので常に掲示し、今この流れのことをしているんだと分かったうえで落ち着いて取り組むことが子どもたちに必要だなと思いました。即改善しようと思います。

本時の目標「？」で終わらせるようにしたい。本時の目標、本時の流れを具体的に

少し、授業の形態を作る必要があるのかなと考えています。

手順の明確化はやはり大切だなと思うので、いつも通り使っていきたい。ただ、書きすぎもどうかと思う部分もあるので、この学校、学年はこう、ではなくその日、そのクラスでの柔軟な対応が求められると思う。

本時の目標、流れを分かりやすくしかも短く掲示する。生徒の話を繰り返さず、深めていくよう他の生徒に投げかける。

子ども同士を「つなぐ」という視点

本時の目標を疑問形書くのもいいなと思いました。

本時の目標や流れを言い忘れることが多いので意識しようと思った。

子どもが何について学んでいるのか、活動しながら体で確認できるところ

私が授業をするのは今年道徳だけですが、道徳の授業にも生かしていけると思いました。

教え合い学習で大切な部分はなぜやっているのかを短い時間の中で丁寧に教えていただきました。本時の流れ(見通し)の掲示について学びのプランを子どもたちに掲示することでいろいろな生徒が安心できると思います。一時間の中でやることがたくさんなので改めてスムーズな進行に努めようと思った。

今の単元は説明が多い所なので生徒たちが理解できているかを授業スタンダードに載っている方法で確認していきたいと思います。

一人→二人→班→全体という授業の流れを改めて確認できました。ですので、自分が授業を展開するときも活かすことができると考えます。また、豊中市立第十五中学校の基本的な考えを理解できたので自分の授業にも活かそうです。

本時の目標 本時の流れは改めて大切にしようと思いました。できる人ができない人へのコーチもこのまま活かしていこうと思います。

ノートの使い方の工夫、自分のスタイルを残しながら新しいやり方を研究します。

質問の仕方を工夫しようと思いました。つながる授業になるように頑張りたいです。

もう一度、原点に戻って生徒同士の関わりを増やしたり、こちらの説明ばかりにならない授業づくりを頑張っていきたいです。

公民分野は答えがない、人それぞれの考え方があるので個人の意見が言えるような授業ができればとは考えています。

子ども達にできるだけ説明させる→この時間を一授業一回は作る。

どうしても、子どもの授業を復唱してしまうのでつなげるための声掛けを実践してみたいです。

「聴いて・考えて・つなげる」それぞれの授業について質問があればお書きください。

☁「聴いて」・「考えて」・「つなげる」それぞれの場面でどう支援できるかいつも悩んでいます。

☁→支援の先生は生徒同士をつなげていただき、頼もしい存在です。まずは聴く、そして、考えるときのほんの少しのお手伝い、つなげるときは支援の必要な生徒を中心に他の生徒にもさりげなく声掛けしていただき、子ども同士をつないでいただけたらありがたいです。

☁本時の見通し（流れ）を立てる上で一番大事にしたり工夫していることは何でしょう

☁→「問い」（本時の目標）を生徒の興味を引き出せるような工夫をしています。そこから問を解決するための手立てを組み立てています。

☁聴き方、話し方がベースになってくるとは思いますが、普通の教室の一覧表を授業でどう活用しているのか見てみたいです。

☁→マグネットのついたカードがあり、本時の目標に合ったものを選んで黒板に貼っています。

☁説明が苦手、難しい生徒への指導はどのようにされていますか？

☁→生徒に復唱させる。生徒同士で説明の時間をとる。「なぜ？」

「どうして？」などのつなげる言葉を使ってもう少し補足をします。分かったことを自分の言葉で書く。友達に説明する。

☁相当年数授業作りを考えてこられて、その結果、どのような変化、効果につながっているのか知りたい。

☁→まずは子どもを理解したい。自分の授業で分からない子を作りたくない。どの子ども同じ温度で楽しく授業を受けてほしいという思いがあって、試行錯誤を続けている途中です。初めて授業をした頃よりも、「分からない」という生徒の言葉に対して自分を責めなくなりました。私の説明よりも子ども同士の言葉での説明の方が分かりやすかったことも一度や二度ではありません。（笑）「次の授業ではその説明使お♡」と思います。

☁「つなぐ」ことのむつかしさ、その大切さ「つなげる」という点にスポットを当てた会なども持てたらお互いの学びにつながると思いました。

☁→ぜひ授業力向上セミナーで取り上げていきたいと思えます。以前言われたのは、ピンポン型ではなく、バレーボール型。子ども同士が何回もつながって教師が時々対話をつなぐことを意識しています。

☁全員で共有するスタンダードと先生方一人一人の個性のバランスをどう設定（意識？）されているのでしょうか。

☁→職員室での会話が一番だと思います。授業力向上セミナーなどを通して交流していけたらと考えています。毎日の業務の中でなかなか思うように進んでいないのも現状です。

☁「あたたかな聴き方」「やさしい話し方」についても詳しく知りたいと思いました。

☁→相手を理解して話す。聴く。能動的な聴き方、話し方を意識した指導を意識しています。また取り上げていけたらと思うテーマです。

☁これはうまくいった！というエピソードを教えてください。

☁→班活動をつかました。ミシンや、糸鋸などの作業を班での教え合いを取り入れて行いました。チェック表を作ったり、班の全員ができたなら次に行きましょう。等とすると、思いのほか教え合いが進みました。

☁→「分かった人は☁（グー）。わかりにくかった人は☁（パー）で教えてください。」で手を挙げて、2/3が分かっているようだったらペア学習。それ以下なら、☁の生徒に説明をさせて、何回か同じ方法で確認をする。